

五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略
平成29年度 事業評価資料
(平成28年度の進捗状況)

【評価後修正済版】

※修正箇所は赤字で標記。(p.5 p.8 p.11)

平成29年6月30日

五 條 市

目次

	項番号
◆ はじめに	1
◆ 担当課一覧	2
◆ 基本目標 1 子どもを育てたいまちをつくる【事業総括】	3～4
・ 基本目標 1【KPI総括】	5
◆ 基本目標 2 安心して定住できる都市をつくる【事業総括】	6～7
・ 基本目標 2【KPI総括】	8
◆ 基本目標 3 地域資源で新たな産業をつくる【事業総括】	9～10
・ 基本目標 3【KPI総括】	11
◆ 基本目標 4 地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる【事業総括】	12
・ 基本目標 4【KPI総括】	13

はじめに

五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇話会では、五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進及び評価に関すること※を所掌事務としていることから、年度毎に事業評価を行い、関連各種事業のPDCAサイクルを実施するものです。

(※ 五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇話会要綱 第2条第2号)



五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系

基本目標	1. 子どもを育てたいまちをつくる			2. 安心して定住できる都市をつくる					3. 地域資源で新たな産業をつくる				4. 地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる						
基本方針	1-1 地域に馴染む子育ての充実	1-2 結婚・出産の環境づくり	1-3 選ばれる教育環境づくり	2-1 安心・快適なまちづくり					3-1 地域資源を活かした産業づくり		3-2 起業・創業の環境づくり		4-1 地域ブランドの確立による観光・交流づくり						
具体的施策	1-1-1 切れ目のない子育て支援を実施する	1-2-1 出産しやすい環境をつくる	1-2-2 出会いの環境をつくる	1-3-1 まちづくりと一体となった学校の規模と配置の適正化に取り組む	1-3-2 将来を担う人を育て、まちをつくる教育内容の適正化に取り組む	2-1-1 住みよいまちづくりに取り組む	2-1-2 新しい居住スタイルを発信する	2-1-3 広域防災・防災教育の要をつくる	2-1-4 安心できるまちづくり	2-1-5 大阪・神戸・京都・奈良を結ぶ広域ネットワークを構築する	3-1-1 裾野の広い観光産業を確立する	3-1-2 木質バイオマスによる産業づくり	3-1-3 地産地消をエコツアーとして確立する	3-1-4 水資源を活用した産業づくり	3-2-1 起業・創業に係る支援環境づくり	3-2-2 農業経営を支援する	3-2-3 高齢化社会に適応した雇用づくり	4-1-1 五條の「食の価値」を確立・成長させる	4-1-2 五條の「あかね色」を原風景化する

五條市まち・ひと・しごと創生総合戦略における施策と担当課

基本目標	1. 子どもを育てたいまちをつくる					2 安心して定住できる都市をつくる					3. 地域資源で新たな産業をつくる						4. 地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる		
基本方針	1-1 地域に馴染む子育ての充実		1-2 結婚・出産の環境づくり		1-3 選ばれる教育環境づくり	2-1 安心・快適なまちづくり					3-1 地域資源を活かした産業づくり				3-2 起業・創業の環境づくり			4-1 地域ブランドの確立による観光・交流づくり	
具体的施策	1-1-1 切れ目のない子育て支援を実施する	1-2-1 出産しやすい環境をつくる	1-2-2 出会いの環境をつくる	1-3-1 まちづくりと一体となった学校の規模と配置の適正化に取り組む	1-3-2 将来を担う人を育て、まちをつくる教育内容の適正化に取り組む	2-1-1 住みよいまちづくりに取り組む	2-1-2 新しい居住スタイルを発信する	2-1-3 広域防災・防災教育の要をつくる	2-1-4 安心できるまちづくり	2-1-5 大阪・神戸・京都・奈良を結ぶ広域ネットワークを構築する	3-1-1 裾野の広い観光産業を確立する	3-1-2 木質バイオマスによる産業づくり	3-1-3 地産地消エコツアーとして確立する	3-1-4 水資源を活用した産業づくり	3-2-1 起業・創業に係る支援環境づくり	3-2-2 農業経営を支援する	3-2-3 高齢化社会に適応した雇用づくり	4-1-1 五條の「食の価値」を確立・成長させる	4-1-2 五條の「あかね色」を原風景化する
企画政策課	★					★	★			★	★	★						★	★
管財課（情報システム室）										★									
危機管理課								★	★										
介護福祉課						★											★		
保健福祉センター						★													
児童福祉課	★	★	★																
西吉野支所											★	★							
大塔支所												★							
生活環境課							★												
農林政策課												★	★		★		★		
企業観光戦略課									★					★		★			
まちづくり推進課				★			★		★										
公園緑地課									★										
水道局													★						
教育総務課	★			★	★			★											
学校教育課				★	★														
生涯学習課									★										
子ども未来課	★			★															

基本目標1 子どもを育てたいまちをつくる【事業総括】

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	実績	今後の予定	担当課	番号
1. 子どもを育てたいまちをつくる	1-1 地域に馴染む子育ての充実	1-1-1 切れ目のない子育て支援を実施する	地域子育て支援拠点事業(保育施設、サービスの充実)	地域子育て支援拠点事業施設の開設場所及び事業内容の検討 施設開設準備(設計・工事)及び運営方針の策定	地域子育て支援拠点事業施設の開設・運営	児童福祉課	1
			子育てサークル活動支援事業	活動場所の提供や活動の支援	継続実施	児童福祉課	2
			地域公共交通確保維持改善事業(小児科等の医療機関へのアクセス改善)	五條バスセンターから「南奈良総合医療センター」に向かうコミュニティバスを平成28年4月1日より1日8往復運行開始	利用者の声を聞きながら、運行時間や五條バスセンターでの他の公共交通との接続等を検証し改善に努める	企画政策課	3
			幼保一体化施設(認定こども園)の整備事業	認定こども園の配置・整備に向けた協議	公立幼稚園・保育所のあり方についての意見交換会の開催 認定こども園整備基本計画の策定	子ども未来課 (教育総務課) (児童福祉課)	4
			子育て支援等のソーシャルビジネス支援体制の整備事業	支援体制等の情報収集	支援体制の整備に向けた事業検討	児童福祉課	5
	1-2 結婚・出産の環境づくり	1-2-1 出産しやすい環境をつくる	子育て世代の交流の場づくり事業	五條児童館における年齢別親子教室(0,1,2歳児)の実施 子育て支援センター設置に向けての検討・計画策定	子育て支援センターの設置・運営	児童福祉課	6
			婦人科等の医療機関へのアクセス改善	五條バスセンターから「南奈良総合医療センター」に向かうコミュニティバスを平成28年4月1日より1日8往復運行開始	利用者の声を聞きながら、運行時間や五條バスセンターでの他の公共交通との接続等を検証し改善に努める	企画政策課	7
		1-2-2 出会いの環境をつくる	婚活イベント事業	婚活イベントの検討、実施体制づくり	婚活イベントの実施	児童福祉課	8
			結婚斡旋団体のネットワーク構築事業	結婚応援ネットワーク構築について検討	結婚応援ネットワーク構築、活動・運営	児童福祉課	9

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	実績	今後の予定	担当課	番号
1. 子どもを育てたい まちをつくる	1-3 選ばれる教育環境 づくり	1-3-1 まちづくりと一体と なった学校の規模と 配置の適正化に取り 組む	学校の規模・配置の適 正化に関する推進事業	五條市学校適正化検討委員会審 議・答申 五條市教育フォーラムの開催 五條市立小中学校の適正化に関す る基本方針策定 五條市学校適正化推進実施委員会 設置 五條市学校適正化基本計画素案の 作成 説明会・意見交換会の開催	五條市教育フォーラムの開催 意見交換会・説明会の開催 五條市学校適正化基本計画の策 定 学校統合協議会の設置 立地適正化計画との整合性検討	子ども未来課 まちづくり推進 課	10
		1-3-2 将来を担う人を育 て、まちをつくる教育 内容の適正化に取り 組む:	教育内容の適正化の 推進事業(9年間の教 育体制の構築、賀名生 分校のあり方検討)	市教科等研究委員会において各教 科・領域の9年間を見通したカリキュ ラムを作成	学習指導への反映 小中学校が連携した合同研究授 業への反映	学校教育課	11
			教育内容の適正化の 推進事業(賀名生分校 のあり方検討)	基本方針の策定 授業内容の検討 宿舍整備の設計 協力農家の組織化	寄宿舎の整備 全国募集の広報・実施 農家実習の枠組みの完成 新たなシステムによる授業の開始	教育総務課	12
			通級指導教室開設事 業	五條市通級指導教室を設置	通級指導教室の充実	学校教育課	13

基本目標1 子どもを育てたいまちをつくる【KPI総括】

重要業績評価指標(KPI)の状況

基本的方向	重要業績評価指標名(KPI)	当初(H26)	現時点(H28)	目標値(H31)	状況評価	備考
1-1 地域に馴染む子育ての充実	地域子育て支援拠点事業への未就園児童の参加率(%)	20	23	30	○	継続して取り組みを進める
	子育てサークル数(団体)	1	1	3(累)	○	継続して取り組みを進める
	認定こども園数(施設)	—	0	2~3(累)	○	H29から「子ども未来課」設置により事業推進
1-2 結婚・出産の環境づくり	婦人科等の医療機関へのバス路線数(路線)	—	1	1(累)	◎	南奈良総合医療センターへ増便
	子育て世代の交流の場づくり事業延べ参加者数(人)	2,600	2,034	3,000	—	対象者の減少に伴い参加者数が減少 指標の見直しを%に修正する
	事業推進による成婚数(件)	—	0	5(累)	△	達成に向けて関係団体等と事業推進中
1-3 選ばれる教育環境づくり	学校規模・配置の適正化に関する実施委員会(回)	—	2	5(各年度)	○	別途、地域での説明会を9回開催 保護者対象意見交換会を10回開催
	全国学力・学習状況調査正答率	教科によっては全国平均を上回っている	全国平均は下回っているが、同一集団の学力は伸びている	実施された全教科の正答率が全国平均を上回る	△	まずは全国平均に並ぶよう、計画的に取組を進める
	五條高校賀名生分校の県外からの生徒の受け入れに関する検討会(回)	—	H27: 1 H28: 5	3(各年度)	○	継続して取り組みを進める

状況評価基準	◎	: 数値目標は達成済み
	○	: 達成に向け事業推進中
	△	: より一層の努力が必要
	—	: 指標の見直しが必要

基本目標2 安心して定住できる都市をつくる【事業総括】

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	実績	今後の予定	担当課	番号
2. 安心して定住できる都市をつくる	2-1 安心・快適なまちづくり	2-1-1 住みよいまちづくりに取り組む	地域包括ケアシステム構築事業	高齢者アンケート調査、地域ケア会議を実施し、五條市地域包括ケアシステム全体構想を策定 実現に向けた取り組み支援 ・地域ケア会議の実施 ・新しい総合事業実施に向けての準備	・地域ケア会議の実施 ・新しい総合事業の実施 ・認知症ケアパス ・在宅医療・介護の連携の推進 ・住民主体による介護予防活動の充実	介護福祉課	14
			健康増進推進事業(健診等)	健康増進事業の実施	継続実施	保健福祉センター	15
			地域公共交通整備事業	五條バスセンターから南奈良総合医療センター及び福神駅への路線を整備	「五條市地域公共交通網形成計画」を策定した上で、ワーキンググループを設置し、現状の交通網の再検証を行う。	企画政策課	16
			長期私鉄新駅誘致促進事業(実現可能性調査等)	私鉄新駅誘致促進事業(実現可能性調査等)を継続実施	継続実施	企画政策課	17
		2-1-2 新しい居住スタイルを発信する	住宅取得補助金交付事業	UIJターン住宅取得補助金・新婚世帯住宅取得補助金事業の実施	継続実施	企画政策課	18
			空き家の再生利用促進事業	空き家の無料相談窓口の開設、空き家調査、HPIによる空き家の情報提供を開始	空き家等対策計画の策定 空き家等対策協議会の立ち上げ 維持管理、活用等に関する相談体制の構築 官民連携による、空き家利用希望者の受け入れ、利活用の推進	まちづくり推進課 生活環境課	19
			金融機関等と連携した住宅取得支援事業	五條市と金融機関との意見交換 具体的な連携内容を調査	市内金融機関における当該制度に係る優遇金利利率の見直し 住宅金融公庫「フラット35」との業務連携を検討	企画政策課	20

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	実績	今後の予定	担当課	番号
2. 安心して定住できる都市をつくる	2-1 安心・快適なまちづくり	2-1-3 広域防災・防災教育の要をつくる	県の広域防災活動拠点整備推進事業	整備推進事業として防災講演会を実施	防災拠点施設用地調査及び基本構想策定	危機管理課	21
			長期 自衛隊駐屯地誘致事業	自衛隊誘致促進事業業務 市民等駐屯地見学 防災講演会	継続実施	危機管理課	22
		2-1-4 安心できるまちづくり	学校施設での防犯対策事業(学校等への防犯カメラの設置)	未設置の学校(中学校に)防犯カメラ設置	目標を達成し、事業を終了	教育総務課	23
			安全運転管理機器等導入促進事業(ドライブレコーダーの普及促進)	安全運転管理機器等導入促進事業(ドライブレコーダーの普及促進)の実施	継続実施	危機管理課	24
			長期 消防団等の地域組織の再編成事業	消防団員の装備品等を充実させ、自治消防機能を強化	継続実施	危機管理課	25
		2-1-5 大阪・神戸・京都・奈良を結ぶ広域ネットワークを構築する	五條インター周辺整備事業(道の駅整備)	道の駅を含む、五條インター周辺地域振興拠点施設整備基本計画検討	道の駅整備基本計画に基づく事業手法の検討 建物、造成、基盤設計 造成工事	まちづくり推進課	26
			奈良県及び周辺市町村と連携した観光振興策の展開	従来から参画している広域観光圏協議会での情報交換及び連携の強化並びに首都圏への共同プロモーション等の参加	引続き広域観光圏協議会での取組及び吉野地域DMOの設立及び参画について調査研究	企業観光戦略課	27
			ICカード乗車券対応改札機の設置事業	JR西日本との協議	継続協議	企画政策課	28
			観光施設等へのWi-Fi整備事業	設置個所の検討 新町地区の3施設及び上野公園に無料公衆無線LANの環境を整備	新たな設置個所の検討 随時整備	管財課(情報システム室)	29
			長期 スポーツイベント、キャンプ誘致等推進事業	上野公園内に総合体育館を建設 総合体育館を活用したスポーツイベントの開催(卓球:伊藤美誠、柔道:篠原信一)	スポーツイベントの継続開催(バスケットボール:バンビシャス奈良 柔道:「道場わっしょい!」他)	公園緑地課・生涯学習課・企業観光戦略課	30
		長期 大型商業施設の誘致・検討事業	県と誘致可能性について検討	継続検討	企業観光戦略課	31	

基本目標2 安心して定住できる都市をつくる【KPI総括】

重要業績評価指標(KPI)の状況

基本的方向	重要業績評価指標名(KPI)	当初(H26)	現時点(H28)	目標値(H31)	状況評価	備考
2-1 安心・快適なまちづくり	高齢者に占める要支援・要介護認定率(%)	21	22	18	○	住民主体による介護予防活動の充実、介護予防・日常生活支援総合事業の実施により改善を図る。
	五條市UIJターン住宅取得補助金申請件数(件)	—	H27: 18 H28: 9	15(各年度)	○	新婚世帯補助金対象を含めると H27:28 H28:21
	空き家に関する問合せ件数(件)	50	70	70(各年度)	○	地方への興味の高まりから、問い合わせは年々増加傾向にある
	自衛隊駐屯地誘致に関する市民の機運醸成を図るイベント等の年間実施回数(件)	2	H27: 2 H28: 2	4	○	地域集落での防災講演会など小規模な取り組みも展開中
	防犯カメラ設置校数(校数)	11	15	15(全校園)	◎	H27年度中に整備済・事業完了
	ドライブレコーダー年間補助導入件数(件)	—	H27: 51 H28: 310	300(年間)	◎	周知が進み、目標導入件数達成
	消防団員数(人)	558	560	603(累)	○	微増ではあるが増加。継続して加入を促進する
	五條インター周辺整備計画の策定	—	未策定	平成30年までに策定	○	H29年度において策定作業中
	ICカード乗車券対応改札機設置箇所数(箇所)	—	0	1	○	計画的なまちづくりと共に、継続して要望を行う
観光施設等へのWi-Fi設置箇所数(箇所)※	31	32	46	△	利用頻度の低い施設からの撤去などにより設置数が減	

状況評価基準	◎	:数値目標は達成済み
	○	:達成に向け事業推進中
	△	:より一層の努力が必要
	—	:指標の見直しが必要

基本目標3 地域資源で新たな産業をつくる【事業総括】

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	実績	今後の予定	担当課	番号
3. 地域資源で新たな産業をつくる	3-1 地域資源を活かした産業づくり	3-1-1 裾野の広い観光産業を確立する	地域資源(文化財、五新鉄道跡活用等)を活用した観光促進事業(市内観光資源のパッケージ化)	五新鉄道跡地活用可能性検討 西吉野地区長期活性化プランによる事業展開の整理 未成線サミット・木レールイベント開催 「地域資源を活かした産業とブランド創造事業」により、地域人材や各種資源を把握し、推進母体の核となる協議会を設置	五新線、吉野三山等を活用した観光事業の検討と実践、社会実験の実施支援 きすみ館を活用した交流促進事業支援	企画政策課・企業観光戦略課・西吉野支所	32
			新たな観光資源創出事業	「地域資源を活かした産業とブランド創造事業」により、地域人材や各種資源を把握し、推進母体の核となる協議会を設置	市内事業者や旅行者によるDMC活動として、モデル的に観光資源化に取り組む。自立展開できるよう、地域商社等がコーディネートする 吉野地域DMOの設立や紀北DMOへの参画及び両DMO連携体制について調査研究	企画政策課・企業観光戦略課	33
		3-1-2 木質バイオマスによる産業づくり	公共施設のバイオマス活用促進事業(きすみ館改修事業等)	木質バイオマス利用可能量の把握・需要候補施設の抽出 導入可能性のある公共施設の抽出・利用モデルの検討、将来的に展開する民間施設の抽出 きすみ館におけるバイオマスボイラ導入モデル、改修方針検討	バイオマスタウン構想の見直しを視野に入れ、木質バイオマス活用を検討する 市内集材基地の創出 地域材搬出取組の強化 きすみ館の改修・共用開始、利活用案の検討	企画政策課・農林政策課・西吉野支所・大塔支所	34
		3-1-3 地産地消をエコツアーとして確立する	地産地消のパッケージ化支援事業	ブランド戦略(案)検討によるパッケージ化対象となる地域資源及び地域人材の整理	ジビエ等を核とした地産地消パッケージ化の試行 賀名生分校魅力化推進事業(生徒募集)との連携 民間事業として自立展開への検討	企画政策課・農林政策課	35
	3-1-4 水資源を活用した産業づくり		水道広域化検討調査の動向把握	広域化の動向を踏まえた検討	水道局	36	

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	実績	今後の予定	担当課	番号
3. 地域資源で新たな産業をつくる	3-2 起業・創業の環境づくり	3-2-1 起業・創業に係る支援環境づくり	起業・創業支援事業	随時起業・創業相談の実施	随時起業・創業相談の実施 各種資金提供・利子補給等の受付	企業観光戦略課	37
		3-2-2 農業経営を支援する	遊休農地の活用・農地集積促進事業	農地集積協力金交付事業の活用による農地集積	継続実施	農林政策課	38
			事業拡大等の支援事業	経営体育成支援事業等を活用し、担い手を中心に経営規模の拡大のための機械導入等の支援	継続実施	農林政策課	39
			農林業就業希望者の受け入れ・育成事業	農業次世代人材投資事業等の活用 経営体育成支援事業等の活用	継続実施	農林政策課	40
		3-2-3 高齢化社会に適応した雇用づくり	買物支援・移動販売の促進事業	市内山間地域における買物困難者対策事業移動販売業務の実証	実証が終了し業務委託による実施、福祉部門での事業展開の検討	企業観光戦略課	41
			高齢者等の見守り支援事業	緊急通報装置設置等の高齢者等の見守り支援ネットワーク事業	元気な高齢者が、支え手側に回り、生活支援サービス等を提供することで、社会参加と生きがいづくりができるよう、介護予防・日常生活支援総合事業を推進していく。	介護福祉課	42

基本目標3 地域資源で新たな産業をつくる【KPI総括】

重要業績評価指標(KPI)の状況

基本的方向	重要業績評価指標名(KPI)	当初(H26)	現時点(H28)	目標値(H31)	状況評価	備考
3-1 地域資源を活かした産業づくり	五新鉄道跡活用事業数(件)	1	3	3	◎	全国未成線サミット、木レールイベント実施、トンネル椎茸栽培試行
	市内の施設での木質ペレットの利用件数(件)	—	調整中	1(累)	○	費用対効果を考慮し木質ペレットに限定せず、目標値以上の成果を目指す
	(仮称)エコツアー検討協議会の設置	—	調整中	平成30年までに設置	○	「地域・産業ブランド推進協議会」での活用を検討
3-2 起業・創業の環境づくり	市内での新規創業に関する相談の実施(件)	—	3	平成28年度より実施	○	県よろず支援拠点と連携して継続して取り組みを進める
	市内での新規創業に関する利子補給件数(件)	—	0	30(累)	—	空き家の利活用や起業に対する補助金などの整備を検討したうえで、起業・創業に向けての資金提供件数への指標の見直しが必要
	農地集積促進割合(%)	7	—	10	—	農地中間管理事業の推進
	農地集積面積(a)	3,374	5,541	3,500	◎	

状況評価基準	◎	: 数値目標は達成済み
	○	: 達成に向け事業推進中
	△	: より一層の努力が必要
	—	: 指標の見直しが必要

基本目標4 地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる【事業総括】

基本目標	基本的方向	具体的な施策	事業	実績	今後の予定	担当課	番号
4. 地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる	4-1 地域ブランドの確立による観光・交流づくり	4-1-1 五條の「食の価値」を確立・成長させる	五條の特産品PR事業	ブランド戦略(案)検討によるプロモーション方針の体系化 「地域資源を活かした産業とブランド創造事業」により、地域人材や各種資源を把握し、推進母体の核となる協議会を設置	地域ブランドのプロモーション展開(仮称)全国ジビエフェスタ開催	農林政策課	43
			ジビエ等を活用した新たな商品開発に関する支援事業	ブランド戦略(案)検討によるプロモーション方針の体系化 高級ブランドイメージ戦略の検討(フレンチ) 「地域資源を活かした産業とブランド創造事業」により、地域人材や各種資源を把握し、推進母体の核となる協議会を設置	OEMまたはODM商品開発 ペットフード事業 (仮称)全国ジビエフェスタ開催 民間事業として商品開発・販路拡大 ジビエール五條の収益拡大	農林政策課	44
		4-1-2 五條の「あかね色」を原風景化する	「大和五條のあかね色」を有効活用した本市のブランディング事業	ブランド戦略(案)検討によるブランド化の全体像検討 「地域資源を活かした産業とブランド創造事業」により、地域人材や各種資源を把握し、推進母体の核となる協議会を設置	三者協定に基づくブランドロゴマークづくり 五條赤根のプロモーション活動 五條赤根に関する事業スキームの調整・確定	企画政策課	45
			あかね栽培、染色産業の活性化支援事業	ブランド戦略(案)検討によるブランド化の全体像検討 「地域資源を活かした産業とブランド創造事業」により、地域人材や各種資源を把握し、推進母体の核となる協議会を設置	五條赤根のプロモーション活動 五條赤根に関する事業スキームの調整・確定 あかね栽培・染色事業の市内展開支援 五條赤根の商品化支援	企画政策課	46

基本目標4 地域ブランドを確立し、ひとの流れをつくる【KPI総括】

重要業績評価指標(KPI)の状況

基本的方向	重要業績評価指標名(KPI)	当初(H26)	現時点(H28)	目標値(H31)	状況評価	備考
4-1 地域ブランドの確立による 観光・交流づくり	ジビエの出荷額(千円)	—	7,212	10,600	○	捕獲時期(季節)や、部位の特性を踏まえた、商品化に取り組んでいる
	ジビエ肉加工施設での雇用の創出数(人)	2.5	5	3.5	◎	今後の生産設備の拡大に向け、更なる雇用も検討
	(仮称)地域ブランド協議会の設立	—	設置	平成28年までに設置	◎	「地域・産業ブランド推進協議会」として平成29年3月設置

状況評価基準	◎	:数値目標は達成済み
	○	:達成に向け事業推進中
	△	:より一層の努力が必要
	—	:指標の見直しが必要